



この「かぶっとこ通信」では、各校の自転車通学時のヘルメット着用推進に係る取組事例やトピックとなる情報を紹介していきます。

今回は、自転車ヘルメット着用体験として開始するヘルメットの貸し出しについて紹介します。

## ～ヘルメットの貸し出しをしています～

部活動やグループ単位で、ヘルメット着用を体験してみませんか

「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（H31.4.1施行）」に基づき、自転車乗車時のヘルメット着用推進に向けて、各学校で取り組んでいただき3年余りが経ちます。少しずつではありますが、ヘルメットを着用して通学する生徒も増えてきています。万が一の交通事故から「自分の命は自分で守る」交通安全意識と自主的に安全行動をとっている姿はたのもしく、応援したくもあります。

一方で、自転車ヘルメットを着用することに抵抗感を抱いている生徒もいます。

「暑い」「面倒くさい」「事故になんか遭うわけがない」「1人で被るのは恥ずかしい」「周りが被るのであれば自分も被る」など。

最近のヘルメットは、軽くて風通しがよく、おしゃれなものも多いです。

体験的にヘルメットを着用してパレードに参加した生徒からも「思っていたより意外とイケる」「ヘルメットを被ってみると安心感がちがう」といった声も聞かれます。

そこで、ヘルメット着用を一定期間体験してもらうために、ヘルメットの貸し出しを始めます。部活動や生徒会、クラスやグループ単位、友達どうしでヘルメットを着用しての通学をしてみてください。きっとこれまでの印象が変わることと思います。



詳しくは、学校安全対策課までお問い合わせください



## 自転車ヘルメット貸し出し

消毒をしています

（貸し出し期間）3週間以内

（ヘルメット）黒、白、青 計18個

（問い合わせ）

県教育委員会事務局 学校安全対策課

（住所）高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号

（TEL）（088）821-4533

※お気軽にご連絡ください。お待ちしております。



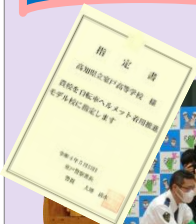
かぶって  
登校  
かぶって安心



この「かぶっとこ通信」では、自転車ヘルメット着用についてのトピック情報を紹介していきます。学校や関係機関等において、様々な場面で、ヘルメット着用推進に向けた取組が行われています。こうした取組が契機となり、ヘルメット着用の気運が高まってきています。

## ■ 「自転車ヘルメット着用推進モデル校」指定（校則化を契機に）

### 室戸高等学校



室戸高等学校は、令和4年度から校則として自転車利用時のヘルメット着用を義務付けたことに伴い、5月13日（金）に、室戸警察署から「自転車ヘルメット着用推進モデル校」に指定されました。指定式当日には、当校の生徒会、交通安全委員、女子硬式野球部が出席し、室戸警察署長より生徒会長へ指定書が手渡されました。



その後、生徒たちは、室戸市内の量販店に移動し、自転車ヘルメット着用啓発のチラシを市民の方々に配布しました。



## ■ 「自転車マナーアップキャンペーン」（帯屋町での啓発活動）



5月の自転車月間に合わせ、高知県自転車対策連絡協議会主催の「自転車マナーアップキャンペーン」の一環として、帯屋町アーケードにて、自転車の安全利用について啓発活動が行われました。

自転車は手軽に利用できる便利な乗り物です。ヘルメットを着用し、安全に利用したいと思います。・・・私たちの行動が、同じ高校生をはじめとして、小学生、中学生、そして県民みんなに届き、お手本となるよう努めます。

高知追手前高等学校と土佐女子高等学校の生徒10名がヘルメットを着用し、通学で自転車を利用している同世代の学生をはじめ、ヘルメットの着用や自転車の通行方法、安全のためのルールについて広く呼びかけました。代表生徒による「自転車マナーアップ宣言」も、アーケードに力強く響きました。





この「かぶっとこ通信」では、自転車ヘルメット着用についてのトピック情報を紹介していきます。学校や関係機関等において、様々な場面で、ヘルメット着用推進に向けた取組が行われています。こうした取組が契機となり、ヘルメット着用の気運が高まってきています。

## 「第1回 高知県児童生徒の自転車ヘルメット着用推進会議」開催 (R4.4.25)



本会議には、高校生代表も参加してくださいました。



会の最後には、サプライズとして、**県立須崎総合高等学校の生徒さん**の自転車ヘルメット着用推進の主体的かつ継続的な活動に対し、交通安全学会研究調査プロジェクトチームから「**交通安全マイスターユース**」の称号が与えられました。

令和4年度は、県内の児童生徒の自転車ヘルメット着用を一層進めるために、PTAや学校、関係機関、行政等の代表が協議を行う本会議を年2回の予定で開催します。



第1回会議では、参加者から各機関や学校の様々な取組の報告と協議がなされました。会議には、**高知追手前高校・須崎総合高校の生徒さん**にも出席いただきました。

参加者の熱心な発言や議論からは、「ヘルメットの着用の文化は、高知県民である私達が**しっかり作っていきたい**」という参加者の強い気持ちを確認することができました。

多くの特色ある取組を改めて共有できたことを契機に、今後、各機関や団体との連携した取組や新しい取組が生まれ、ヘルメット着用の気運が高まればと考えています。



会議の最後には、アドバイザーである東北工業大学 小川和久教授から、次のような助言をいただきました。「(途中略) **安全は市民がつくるもの**。義務化や校則にするのは簡単。ただそうすると、どうすればみんなヘルメットを被ってくれるか、一人ひとりが考える努力を奪ってしまう。(須崎総合高校の) 高校生の発表にもあったように、**自発的に活動して自分たちで案をつくっていくという、そういうプロセスを、どうぞ大切に**していただきたい。これは今、(ヘルメット着用が) 努力義務の段階ですが私たちに(市民が安全をつくる) よい機会を与えてくれているんじゃないかとも思います。」





# かぶっとこ通信

この「かぶっとこ通信」では、自転車ヘルメット着用についてのトピック情報を紹介していきます。学校や関係機関等において、様々な場面で、ヘルメット着用推進に向けた取組が行われています。こうした取組が契機となり、ヘルメット着用の気運が高まってきています。

今回は、須崎総合高等学校において、オンライン形式で開催された「高知県高校生ヘルメット着用推進シンポジウム」について紹介します。昨年度に引き続き、2回目の開催となります。

このたび、**県内の様々な地域から参加校を募り**、ヘルメット着用の現状について課題を共有し、**ヘルメット着用の重要性について共通理解を図りました。**

講演では、お子さんが交通事故に遭われた経験をもつ塩見絵里香氏に、交通事故及びその後の経験を通して、母親目線で感じた「自転車乗車用ヘルメット着用の必要性・重要性」についてお話しいただきました。その後、ヘルメット着用を推進している学校（須崎総合高校・室戸高校）からの**実践発表や高校生によるヘルメット着用推進に向けたグループ・ディスカッション**などを行い、高校生から様々な意見が出されました。



会場風景



ズームでの参加校



司会のみなさん(須崎総合高校)



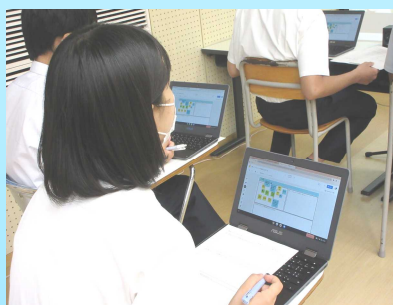
塩見絵里香氏の講演



取組発表(須崎総合高校・室戸高校)



オンラインによるグループディスカッション①



オンラインによるグループディスカッション②



ジャムボードでの意見の出し合い



小川先生の講演

会場からは、学校のヘルメット着用率を向上させる方法として、「**地域を巻き込んで啓発活動を行う**」「**ポイントをスタンプカード化し景品を渡すキャンペーンを行う**」「**まずは自転車で通勤している学校の先生方に着用してもらいアピールする**」など、高校生の率直な意見が多く出されました。

今回は、高校生が自ら自転車ヘルメットの重要性を発信する貴重な機会となりました。今後、**高校生のアイデアから、ヘルメット着用推進に向けた様々な取組が生まれることを期待**しています。



# かぶっとこ通信

この「かぶっとこ通信」では、各校の自転車通学時のヘルメット着用推進に係る取組事例やトピックとなる情報を紹介していきます。

今回は、3月末の合格者登校日の取組と、その後の助成の状況について紹介します。

## ～各学校における合格者登校日での啓発～

新入生親子にヘルメット着用を啓発したことが、効果として表れてきています

3月末には、令和4年度新入生を対象とした「合格者登校日」が各学校で行われました。自転車通学生徒のいる全ての県立学校において、「ヘルメット着用啓発ブース」を設置し、新入生親子に向けて、自転車ヘルメット着用の大切さを訴えました。

今回は、昨年とはちがったことを盛り込みました。

- ①「啓発PR動画」を放映しました。PR動画には、県教育長をはじめ、高知追手前高等学校の塩見さん親子（事故の経験からヘルメット着用の必要性をPR）や、着用推進に取り組んでいる須崎総合高等学校の生徒さんによるメッセージを収録しています。母親としての塩見さんのコメントや、実際に通学している高校生の先輩からの言葉には、刺激を受けた新入生の親子も多かったのではないかと思います。
- ②ヘルメット購入の際に使用できる助成券を、申請があれば即日発行することにしました。これにより、入学前に、助成を受けながらヘルメットを購入することができるようになります（昨年までは、合格者登校日で申請を受け付け、入学後に助成券を交付するシステムでした）。



各学校で取り組んだ結果、左の表からは、令和3年度に比べて、令和4年度の助成券の使用数が増えていることがわかります。

少しずつではありますが、ヘルメットを着用して通学する生徒も増えてきています。万が一の交通事故から「自分の命は自分で守る」交通安全意識と、自主的にヘルメットを被るといふ安全行動をとっている姿勢をこれからも応援していきたいと思ひます。

県立学校 校種	助成数の変化 (R3→R4)			
	R3.4.7	R4.4.7	R3.6.30	R4.6.30
中学校	5	30	23	46
高等学校	42	125	165	203
特別支援学校	2	5	7	10
合計	49	160	195	259
		増加111		増加64





この「かぶっとこ通信」では、各校の自転車通学時のヘルメット着用推進に係る取組事例やトピックとなる情報を紹介していきます。

今回は、3月末の合格者登校日における高知工業高等学校の取組を紹介します。

## ～高知工業高等学校における合格者登校日での啓発～ PTA会長さんや生徒会の高校生によるヘルメット啓発

高知工業高等学校では、PTA会長さんがヘルメットを被った生徒とともに、新入生及び保護者に向けて、ヘルメット着用の必要性についてお話しくださいました。

PTA会長さんのご意向で、会場では啓発に加え、ヘルメットの注文受付も行いました。注文受付ブースでは、PTA会長さんと生徒会のみなさんが、ヘルメット着用を直接呼びかけてくださいました。実際にヘルメットのサンプルを手にとってみて、その軽さや形状・色のバリエーションの豊富さに驚いている方もたくさんいらっしゃいました。

今回、合格者登校日において、ヘルメット着用の啓発の工夫や購入の場を設けたことにより、新入生の親子にヘルメット着用について、自分ごととして考えていただくよい機会となりました。実際に、ヘルメットをその場で注文する親子の姿もありました。



PTA会長と生徒会による啓発



生徒会によるヘルメット購入の受付



ヘルメットを試着する新入生



販売業者もブースに参加



みんなあで かぶろうや！





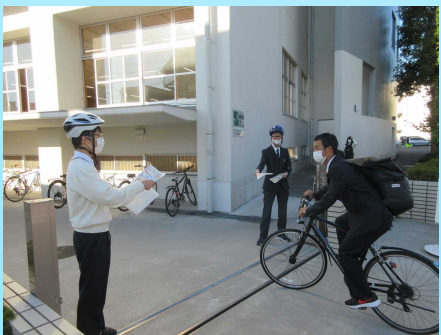
今回の「かぶっとこ通信」では、10月20日(木)に「自転車交通安全モデル校」に指定されている高知西高等学校、高知国際中学校・高等学校において行われた、自転車ヘルメット着用に関する啓発活動について紹介します。

この日の早朝、学校敷地内の大階段前において、高知西高等学校、高知国際中学校・高等学校の生徒会執行部及び生徒指導部教職員が、登校した生徒を対象に、ヘルメット着用啓発に係るチラシを配付し、通学におけるヘルメット着用を呼びかけました。

啓発活動に参加した生徒は、自ら自転車ヘルメットを被り、「あなたの命を守り隊」ののぼり旗を大きく掲げ、自転車ヘルメットの着用推進を大きくアピールしました。登校した生徒は自転車を止め、配付されたチラシに目を通していました。

高知西高等学校の生徒会長、森田敦也さんは「本校生徒は、普段交通安全について触れる機会が少ないので、旗を持って立つだけでも、**気をつけようという意識の高まりにつながる**のではないかと。ヘルメットの着用は一気にはできない。**地道に活動が続けることが大切**だと思うので、**生徒が主体となって交通安全の機運をこれからも高めていきたい。**」と活動を振り返りながら、話してくださいました。

自転車ヘルメットの着用は、安全のために自分にできる交通行動の1つです。今回の生徒の啓発活動は、同じ高校生への力強いPRとなりました。当たり前のようにヘルメットを被って通学する高校生の姿が、1人でも増えることを期待しています。



# かぶっとこ通信



須崎市マスコット・キャラクター  
しんじょう君

ポクも参加  
しました！

発行：高知県教育委員会事務局 学校安全対策課

8月17日に開催された「高知県高校生ヘルメット着用推進シンポジウム」では、11校の高校生が、自転車ヘルメットの着用率を向上させるための方法について意見を交わしました。その中で、高校生から出された意見を基に、今回の啓発活動が実現しました。須崎総合高等学校の取組を紹介します。

11月14日（月）にマルナカ須崎店において、県立須崎総合高等学校及び須崎市内5つの公立中学校（浦ノ内中、南中、朝ヶ丘中、須崎中、上分中）の生徒21名が、自転車ヘルメットを着用し、スーパーを訪れたお客さんを対象に、須崎警察署協力のもと、自転車ヘルメット着用啓発グッズを配付しました。中学生と高校生合同の自転車ヘルメット着用啓発活動は、県内初の試みとなります。

はじめはお客さんに声をかけることに戸惑いを感じていた生徒もいましたが、続けるうちに慣れ、大きな声で積極的に声かけができていました。

啓発活動を終えた中学生からは、「多くの方が啓発物を受け取ってくれて、僕たちの活動を応援してくれた。少しでも自転車ヘルメットに興味関心を持ってもらえるとうれしい。」「一緒に活動した高校生が配付のお手本を見せてくれたので、頼もしかった。それをまねして頑張ることができた。」といった声が聞かれました。

地域の中学生・高校生が、ヘルメット着用を自分事としてとらえ、ヘルメット着用の重要性を発信することは、地域のヘルメット着用の機運を高める上で、非常に重要です。

今回の活動を通して、自分の命を守るだけでなく、大切な家族や仲間、地域の方々の命や笑顔を守るために、自分には何ができるかを真剣に考えることができました。



## 啓発活動の様子



啓発物：木製コースター、ポチ袋、クリアファイル  
(須崎総合高等学校 生徒作成)







# かぶっとこ通信

この「かぶっとこ通信」では、各学校の自転車通学時のヘルメット着用推進に係る取組事例やトピックとなる情報を紹介していきます。

今回は、「自転車ヘルメット着用 ボランティア合同啓発活動」へのお誘いです。

## ～自転車ヘルメット着用を一緒に呼びかけてみませんか～ 自転車ヘルメット着用合同啓発活動のご案内

自転車通学をする中高生に、自転車ヘルメット着用をPRするために、**高校生やPTA、関係機関等のボランティアによる合同啓発活動を実施**します。

参加者は**自ら自転車ヘルメットを被り、チラシ等を配布**しながら、自転車で下校する中高生に対して、ヘルメット着用を呼びかけます。ヘルメットは、持参あるいは当課からの貸し出しで対応します。

「自転車ヘルメット着用者が増えたらよいなあ」「交通安全をみんなで呼びかけてみたい」という気持ちのある**中高校生やPTA等の大人の方々の参加を募集**します！

**みんなでヘルメット着用をPR**して、高知にヘルメット着用安全文化を創りましょう。

毎月**15日の「自転車安全利用を徹底する日」**にあわせて、次の日程で行います。

- ①令和4年12月14日(水)16:00～17:00 はりまや橋付近歩道
- ②令和5年 1月13日(金)16:00～17:00 高知駅駐輪場西側付近
- ③令和5年 2月15日(水)16:00～17:00 はりまや橋付近歩道

参加希望者は、**【別添 参加申し込み書】**に必要事項を記入し、啓発活動の3日前までに、高知県教育委員会事務局 学校安全対策課まで提出してください。1日のみの参加もOKです。**当日の飛び込み参加も受け付け**ます。現地集合・現地解散です。**雨天の場合は中止**します。

【活動イメージ】これまでの啓発活動の様子より



みんなあでかぶろうや！





# かぶっとこ通信

この「かぶっとこ通信」では、自転車ヘルメット着用についてのトピック情報を紹介していきます。学校や関係機関等において、様々な場面で、ヘルメット着用推進に向けた取組が行われています。

今回は、12月14日(水)に高知市はりまや橋付近において行われた、自転車ヘルメット着用に係る合同啓発活動について紹介します。



この活動は、児童生徒の自転車ヘルメット着用推進会議（県教委 主催）において、今後も「PTAや関係機関等が連携した活動を実施していく」ことを協議したことや、高知県高校生自転車着用推進シンポジウム（須崎総合高等学校 主催）において、参加した高校生から「校外での啓発活動を大人と合同でやってみたい」という意見があったことを受け、計画をしたものです。

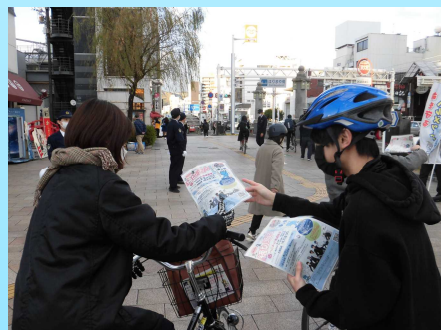
参加者は自ら自転車ヘルメットを被り、チラシ等を配布しながら、自転車で下校する中高生等に対して、ヘルメット着用を呼びかけます。



今回の啓発活動では、高知工業高等学校（定時制）・高岡高等学校・須崎総合高等学校の生徒がボランティアで参加したほか、高知市くらし・交通安全課、高知県警察本部及び高知警察署など、複数の学校や関係機関の連携のもと行われました。

啓発グッズを受け取った高校生は、啓発を呼びかける同じ高校生の話に、真剣に耳を傾けていました。活動を終えた高校生は、「自転車を運転している人は、多くがヘルメットを被っていなかったのだから、ヘルメット着用を心がけることが必要だと感じた」「今回の啓発を通じて、改めてヘルメットの大切さが分かった。ヘルメット購入の助成制度もあるので、学校でも着用啓発を行っていきたい」と振り返っていました。今回の啓発活動で、ヘルメットを被る人が増えていくことを期待しています。

## 活動の様子



みんなあてかぶろうや！





# かぶっとこ通信

令和4年度  
第11号

発行：高知県教育委員会事務局 学校安全対策課

この「かぶっとこ通信」では、自転車ヘルメット着用についてのトピック情報を紹介しています。学校や関係機関等において、様々な場面で、ヘルメット着用推進に向けた取組が行われています。

今回は、2月15日(水)に高知市はりまや橋交差点歩道付近において行われた、**自転車ヘルメット着用に係る合同啓発活動**について紹介します。



12月・1月・2月にわたり、「**自転車ヘルメット着用合同啓発活動**」を3回実施してきました。3回目の2月15日(水)には、ボランティアの高校生や土佐市立蓮池小学校児童の皆さん、PTA連合会や関係機関等、**総勢60名を超える参加者と、特別出演のくろしおくん**が、ヘルメットを被ったり、チラシ等を配布しながら、自転車で下校する中高生等に、ヘルメット着用を呼びかけました。改正道路交通法が令和5年4月1日から施行され、**全ての自転車利用者のヘルメットの着用が努力義務**となります。その意味でも、今回の活動で、**年齢や立場のちがう者がヘルメット着用を一緒に呼びかけられたこと**に、大きな意義がありました。啓発グッズを受け取った高校生は「家族でヘルメット着用を考えたい」と話していました。

これらの啓発活動でヘルメットを被る人が増え、街中の景色が変わっていくことを期待しています。

## 活動の様子



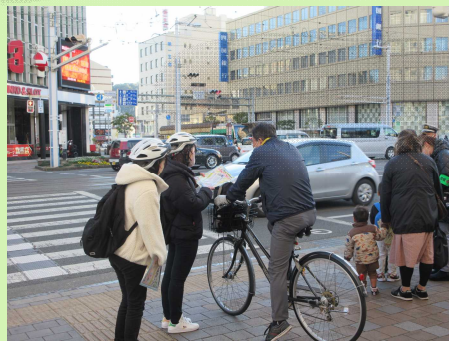
### <これまでの合同啓発活動参加者>

高岡高校、須崎総合高校、高知北高校昼間部、高知工業高校、高知工業高校定時制、高知小津高校、高知丸の内高校、高知東工業高校、太平洋学園高校、土佐市立蓮池小学校、高知県警察、高知県交通安全協会、高知市教育委員会、高知市くらし・交通安全課、高知県高等学校PTA連合会、高知県小中学校PTA連合会、くろしおくん

【のべ114名】



みんなあでかぶろうや！



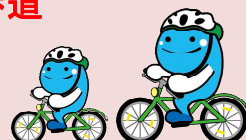
【今年度最後の啓発活動を実施します。自転車ヘルメット着用を一緒に呼びかけてみませんか。】

令和5年3月24日(金)午前8時～9時 高知市はりまや橋交差点歩道

※途中からや短時間での参加、生徒のみの参加(引率教員なし)でも受け付けます。

※参加希望は、学校から参加申込書を提出してもらうか、

学校安全対策課(088-821-4533)までご連絡ください。





この「かぶっとこ通信」では、自転車ヘルメット着用についてのトピック情報を紹介しています。今回は、自転車ヘルメット着用に関する県立学校の生徒さんの作文を紹介します。



## かぶるのが当たり前

高岡高校 2年 宮本琉結

僕は高校入学時にヘルメットを購入しましたが、高校で毎月行われている「ヘルメット着用キャンペーン」の期間だけしかヘルメットをかぶっていませんでした。

年が明けて4月、僕が所属している部活動に後輩がたくさん入部してきました。新入部員の1人は中学校時代からヘルメットを着用していて、一緒に自転車で移動する時も必ずヘルメットをかぶっています。僕は「すごいね」と少しからかうような口調で後輩に話しかけましたが、後輩は「え？はあ、そうですかね」とキョトンとしていました。

聞けば、その後輩も最初はヘルメット着用には抵抗があったみたいですが、そのうちにヘルメットをかぶっていないと「頭がスースーする」「しっくりこない」「こけた時、頭がコワイ」と感じるようになったそうです。実際、その後輩のヘルメットには擦り傷があり、転倒した時についたのだと言っていました。

この秋から生徒会役員としてキャンペーン期間中にヘルメット着用を呼びかける立場になり、「なるべくかぶらないと」と感じ始めて、現在はほぼ毎日ヘルメットを着用して登校しています。

僕も後輩のように「かぶるのが当たり前」になりました。



■令和5年4月1日から改正道路交通法が施行され、  
全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となります。

これは「自転車に乗る時にはヘルメットを着用する社会に、みんなでしていきましょう」というメッセージでもあると思います。自分の命を守るために、家族に心配をかけないために、自転車ヘルメットの着用を本気で考えるチャンスでもあります。

家族で、部活動で、クラスで、学校で、ヘルメット着用の大切さをみんな  
で話題にし、

自らの意志で みんなあて ヘルメットを被りませんか。